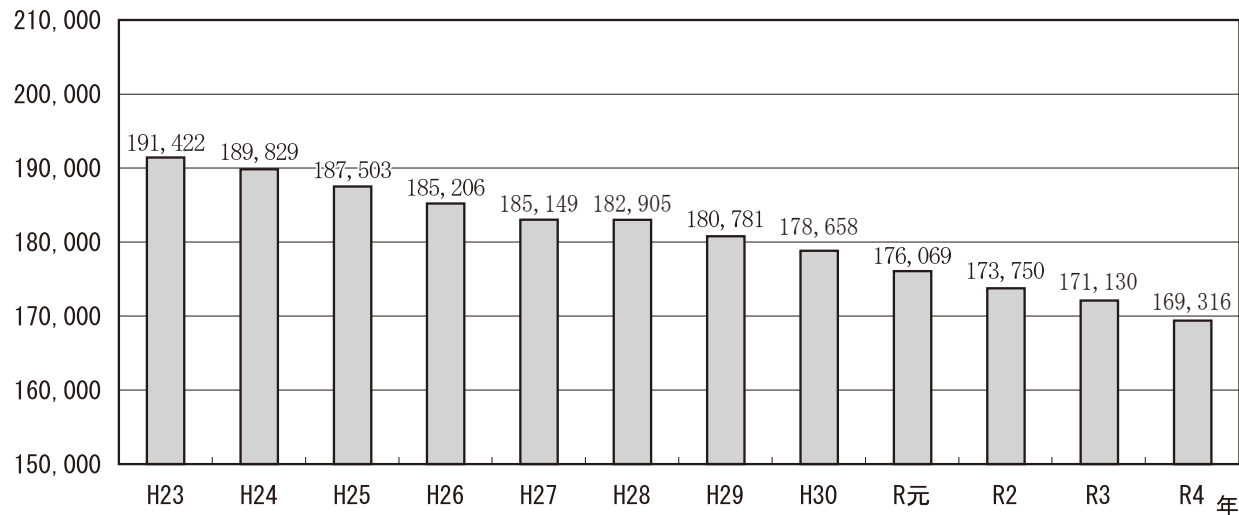


### III 学校教育

#### 1 児童生徒数の推移

##### (1) 人口の推移

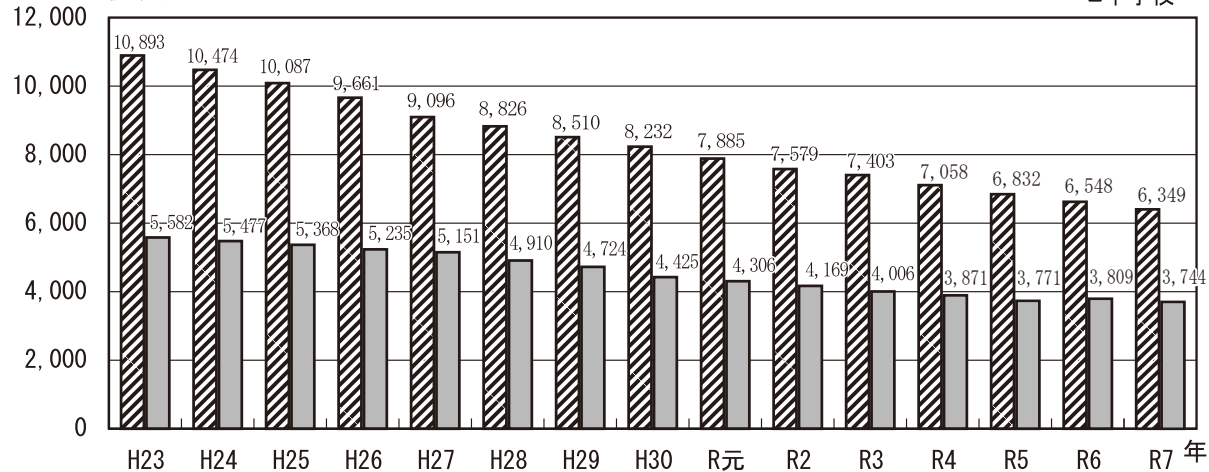
人口(人)



(各年10月1日現在の常住人口による〔令和4年のみ5月1日現在〕)

##### (2) 児童生徒数の推移と推計

児童・生徒数(人)



(各年5月1日現在)

##### (3) 今後4か年就学児推計

(単位：人)

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
1,029	963	989	890

(令和4年4月1日現在)

2 学校等設置状況

(1) 幼稚園、認定こども園、小・中・義務教育・特別支援学校 令和4年5月1日現在（単位：人・㎡）

種別	校名	所在地	開設年月日	園児・児童数		学級数		教職員数	市職員数	校地面積(㎡)		建物面積(㎡)等				保有教室数					
				男	女	計	普通			特別支援	敷地面積	左のうち運動場面積	鉄筋	鉄骨	木造	校舎	屋内運動場	普通(保育室)	特別(遊戯室)	プール	
幼稚園	会瀬	会瀬町2-17-10	S53.4.1	—	—	—	—	—	—	会瀬小学校敷地内	—	482	0	0	482	[H24.3]	—	1	1	無	
	大沼	東金沢町5-6-6	S50.4.1	11	5	16	2	—	6(4)	3,583	2,420	755	0	10	765	[S50.1]	—	3	1	無	
	田尻	田尻町4-39-2	S51.5.6	4	5	9	2	—	4(1)	5,360	2,901	704	22	20	746	[S51.5][S54.3]	—	2	1	無	
	櫛形	十王町伊師本郷506	S49.4.1	9	15	24	2	—	4(2)	4,956	937	0	533	12	545	[S58.2][S61.11]	—	2	1	無	
		計		24	25	49	6	—	14(7)	13,899	6,258	1,941	555	42	2,538		—	8	4	—	
こども園認定	みやた	本宮町2-10-22	H26.4.1	11	12	23	3	—	5	5,774	1,640	584	193	1,294	2,071	[H1.3][H26.3]	[R4.3]	2	1	有	
	はなやま	金沢町2-10-23	R2.4.1	9	9	18	3	—	4	4,270	730	290	0	791	1,081	[R1.9]	—	2	1	有	
		計		20	21	41	6	—	9	10,044	2,370	874	193	2,085	3,152		—	4	2	—	
	助川	助川町2-15-1	M6.7.27	174	182	356	12	5	31	0	31,511	15,865	6,060	10	40	6,110	[S52.1][S53.8][S54.9]	921	17	17	有
小学校	会瀬	会瀬町2-17-10	S14.4.3	124	124	248	9	4	33	0	20,910	9,480	4,640	20	20	4,680	[H24.3]	757	13	15	〃
	宮田	本宮町2-9-1	M6.6.27	180	185	365	12	5	27	0	19,964	9,497	5,332	0	40	5,372	[S45.3][S52.10][S54.1]	866	17	15	〃
	滑川	滑川本町1-20-7	S48.4.1	183	134	317	12	5	22	0	22,335	9,171	5,495	215	0	5,710	[S48.3][S50.2][H13.12]	780	17	14	〃
	仲町	宮田町5-5-1	T7.6.11	63	43	106	6	2	15	0	12,643	6,325	3,700	6	20	3,726	[S53.8][S55.8]	827	8	11	〃
	中小路	平和町2-4-1	S15.7.10	52	47	99	6	3	15	0	19,724	9,484	3,529	11	80	3,620	[S52.1][S53.8]	757	9	11	〃
	大久保	末広町1-1-1	M6.8.15	222	216	438	16	4	37	1	23,875	9,666	6,814	25	0	6,839	[S50.9][S51.9]	895	20	19	〃
	河原子	河原子町4-3-4	M22.7.8	99	79	178	6	3	16	0	15,470	8,372	4,384	8	40	4,432	[S44.3][S51.12][S56.3]	798	9	11	〃
	成沢	中成沢町3-16-8	M22.7.1	90	106	196	7	4	18	0	17,090	8,964	5,968	0	39	6,007	[S46.3][S46.12]	760	11	17	〃
	誠訪	誠訪町3-10-1	S44.4.1	136	128	264	11	3	25	1	30,832	11,227	5,190	26	20	5,236	[S57.3][H28.11]	729	14	10	〃
	水木	水木町1-6-1	M22.6.28	170	164	334	12	4	30	0	17,872	6,996	5,681	0	20	5,701	[S49.3][S55.2][H26.3]	779	16	16	〃
大みか	大みか町3-19-15	S49.4.1	108	102	210	7	4	19	0	16,850	9,219	4,192	0	60	4,252	[S49.3][S60.3]	797	11	8	〃	

※ 幼稚園の教職員数の（ ）内は、非常勤講師数(外数)を表す。

※ 会瀬幼稚園は令和2年4月1日から休園中。

※ 認定こども園の園児は、教育認定子ども的人数。

種別	校名	所在地	開設年月日	児童生徒数		学級数		教職員数		校地面積 (㎡)		建築物面積 (㎡) 等				保有教室数		プール				
				男	女	計	普通	特別支援	職員数	市職員数	敷地面積	左のうち運動場面積	鉄筋	鉄骨	木造	計	建設年月		屋内運動場	普通 (保育室)	特別 (聴覚室)	
																						校
小 学 校	大 沼	東大沼町2-18	S 24.4.6	259	264	523	17	5	38	1	36,396	2,141.8	7,236	11	40	7,287	[S49.3][S50.7][S54.3]	885	22	19	有	
	金 沢	金沢町5-2-1	S 46.4.1	120	113	233	9	4	24	0	24,172	6,788	5,204	0	72	5,276	[S46.3][S48.11]	758	13	17	〃	
	塙 山	金沢町2-14-1	S 54.4.1	121	125	246	10	5	25	1	20,379	10,368	5,288	0	80	5,368	[S53.12]	790	15	18	〃	
	油 縄	鮎川町3-11-1	S 30.4.1	103	94	197	8	3	22	1	24,110	11,390	4,568	36	40	4,644	[S55.10][H27.3]	769	11	11	〃	
	田 尻	田尻町4-39-1	S 52.4.1	183	186	369	12	6	35	1	33,349	13,710	7,128	0	40	7,168	[S51.10][S51.11][S52.11][S59.2]	798	18	19	〃	
	日 高	日高町2-12-1	M 6.8.2	247	232	479	16	6	35	0	19,570	8,046	5,999	38	0	6,037	[R3.1]	809	22	11	〃	
	豊 浦	折笠町741	M 6.8.1	249	224	473	15	4	29	0	40,542	12,619	6,924	0	20	6,944	[S56.3][R1.12]	772	19	10	〃	
	久 慈	久慈町1-23-1	M 6.7.9	119	142	261	11	3	24	0	16,556	7,426	5,271	22	0	5,293	[S38.3][H3.12]	1,147	14	12	無	
	坂 本	南高野町3-21-1	M 22.7.14	184	162	346	13	4	31	0	21,411	7,384	6,194	0	0	6,194	[S47.2][S49.5][H20.2]	757	17	17	有	
	東小沢	下土木内町617	M 7.7.15	7	4	11	3	0	10	0	13,464	8,027	0	1,934	40	1,974	[S50.6][S58.3]	748	3	10	〃	
中 学 校	柳 形	十王町伊師本郷508	M 6.6.29	369	342	711	22	5	49	0	21,042	9,675	5,803	36	0	5,839	[S50.3][S51.7][S56.3]	739	27	13	〃	
	山 部	十王町山部841	M 7.3.31	16	11	27	3	2	10	0	9,017	4,850	923	78	405	1,406	[S32.1][S55.3]	590	5	5	無	
	計			3,578	3,409	6,987	255	93	620	6	529,084	235,967	121,523	2,476	1,116	125,115		19,228	348	326	—	
	助 川	鹿島町3-5-1	S 22.5.3	130	138	268	8	2	29	0	25,493	11,000	4,797	349	48	5,194	[S52.1][S53.8][H11.12][H25.7]	1,320	10	13	有	
	平 沢	高鈴町1-15-1	S 23.9.10	11	20	31	3	1	15	0	26,191	11,815	2,406	230	15	2,651	[S47.7][S48.2][H1.5]	1,458	4	10	無	
	駒 王	神峰町3-2-32	S 24.4.5	150	151	301	10	2	29	0	15,141	8,394	6,423	5	0	6,428	[H15.2]	1,246	12	25	有	
	滑 川	東滑川町3-17-1	S 55.4.1	180	141	321	10	6	35	0	32,836	15,921	5,349	0	40	5,389	[S55.2]	1,194	16	15	〃	
	多 賀	鮎川町3-11-2	S 22.5.3	151	152	303	9	4	29	0	31,096	19,265	7,594	16	100	7,710	[S49.3][S54.3][S60.3]	1,418	13	29	〃	
	大久保	末広町5-12-34	S 35.4.1	238	199	437	13	5	39	0	21,880	10,793	7,062	0	0	7,062	[S59.3][H23.3]	1,326	18	17	無	
	河原子	東多賀町4-10-10	S 43.4.1	72	74	146	6	3	22	0	24,658	9,952	2,037	0	20	2,057	[S58.6]	1,526	9	8	〃	
小 学 校	泉 丘	水木町2-9-1	S 26.4.1	258	248	506	15	5	40	0	35,807	15,399	6,029	523	60	6,612	[S49.5][H5.3][H12.10]	1,317	20	18	有	
	台 原	台原町1-9-1	S 55.4.1	78	52	130	4	2	19	0	29,221	13,217	6,701	0	40	6,741	[S55.2]	1,183	6	25	〃	
	日 高	小木津町3-26-1	S 22.5.3	174	150	324	10	4	31	0	24,961	12,354	6,631	0	0	6,631	[H23.12]	1,425	14	14	〃	
	豊 浦	川尻町3-11-1	S 22.5.3	120	114	234	7	2	22	0	48,060	30,943	3,800	8	40	3,848	[S54.2][S60.3]	1,332	9	15	〃	
	久 慈	久慈町6-20-2	S 22.5.3	152	143	295	9	3	27	0	23,566	10,542	4,991	9	40	5,040	[S52.12][S53.12][S57.3]	1,537	12	16	無	
	坂 本	石名坂町1-30-1	S 22.5.3	25	31	56	3	2	18	0	22,482	8,600	2,120	29	20	2,196	[S57.3]	754	5	10	有	
	十 王	十王町友部600	S 35.4.1	237	217	454	15	3	37	0	33,962	13,611	4,682	349	20	5,051	[S46.2][S57.3][S60.2][H6.12]	1,656	18	13	無	
	計			1,976	1,830	3,806	122	44	392	0	395,374	191,806	70,622	1,518	443	72,610		18,692	166	228	—	
	義務教育学校	中里中学校 (前期)			16	10	26	3	0	6	0											
		中里中学校 (後期)	東河内町1953-1	R 4.4.1	11	15	26	3	0	14	0	15,030	4,875	431	0	2,435	[R4.2]	721	6	5	有	
日立特別支援学校	鮎川町3-11-2	S 43.4.1	86	54	144	19	21	88	0	14,087	6,918	3,728	69	55	3,852	[S50.6][S54.12][S60.3]	669	38	3	有		

※ 日立特別支援学校は、高等部を含み、特別支援学級に訪問学級2を含む

令和4年5月1日現在（単位：人・㎡）

(2) 私立幼稚園及び認定こども園

種別	園名	所在地	電話	設置者名	園長氏名	職員(人)			園児数(人)					園舎面積(㎡)	園地面積(㎡)	園舎構造	認可定員(人)		
						園長	教諭	その他	満3才	3才	4才	5才	計						
幼稚園	三つ葉	石名坂町1-10-3	(52)2745	学校法人 根本学園	根本 杉子	1	5	2	0	12	12	21	45	3	3,562	764	鉄骨造	80	
	日高	日高町2-10-10	(42)4536	学校法人 茅根学園	茅根 宣恵	0	9	11	2	38	29	49	118	5	7,033	2,205	鉄筋造 鉄骨造	300	
	池の川	中成沢町2-8-29	(35)6872	学校法人 のびろ学園	副島由美子	0	9	4	0	21	30	22	73	4	4,233	994	鉄骨造 木造	175	
	諏訪かおる	多賀町5-8-4	(33)8197	学校法人 小野学園	小野 芳樹	1	14	6	1	40	30	37	108	6	1,698	730	鉄骨造 木造	120	
	ひばり	城南町2-7-22	(22)7302	学校法人 城南学園	額賀 力	1	4	7	0	11	19	16	46	3	3,505	849	木造	90	
	すぎの子	東大沼町2-13-22	(36)1486	学校法人 佐藤学園	佐藤 かつ	1	4	1	1	3	7	8	19	4	2,374	507	木造	160	
	めぐみが丘	森山町2-20-9	(52)3681	学校法人 加藤学園	加藤 巧	1	1	0	0	0	0	3	3	1	2,503	483	木造	105	
	もみや	戎宮町188	(53)6578	学校法人 宮田学園	宮田 公友	1	15	2	0	26	33	37	96	5	3,349	1,993	鉄筋造 鉄骨造	280	
		計			8園		6	61	33	4	151	160	193	508	31	28,257	8,525	—	1,310
	認定こども園	茨城キリスト教大学附属 認定こども園みらい園	大みか町6-11-1	(53)9411	学校法人 茨城キリスト教学園	小幡 幸和	1	26	10	0	31	31	32	94	6	5,354	1,501	鉄筋造	180
茨城キリスト教大学附属 認定こども園せいしん園		助川町1-16-1	(24)5111	学校法人 茨城キリスト教学園	小幡 幸和	1	23	10	0	21	31	25	77	6	1,128	1,334	鉄骨造	160	
おおくぼ認定こども園 大久保幼稚園		大久保町4-10-7	(33)2274	学校法人 公土園	岡部 和子	1	19	4	2	32	10	28	72	5	6,000	988	鉄筋・鉄 骨・木造	160	
幼保連携型認定こども園 おぎつ幼稚園		砂沢町364-9	(42)2029	学校法人 中崎学園	川崎ひろ子	0	14	10	1	19	20	20	60	6	7,148	1,878	鉄骨造	160	
認定こども園ほへみ 水木わかば幼稚園		水木町1-20-12	(52)5991	学校法人 たみ学園	門岡 紋子	1	15	5	1	2	3	1	7	3	1,184	405	木造	62	
いしまち認定こども園		十王伊師3447-1	(39)5250	社会福祉法人 愛孝会	佐藤 典子	0	24	19	0	6	3	4	13	5	6,017	2,244	鉄筋・鉄 骨・木造	190	
こどものいえ 認定こども園		日高町1-14-11	(43)6494	社会福祉法人 秀心会	見城智恵子	1	25	10	0	2	5	4	11	3	4,254	1,645	鉄骨造 木造	120	
多賀さくら 認定こども園		東金沢町4-2-1	(59)3355	社会福祉法人 聖愛会	鈴木 順子	0	32	15	0	6	5	6	17	6	3,603	1,699	鉄筋・鉄 骨・木造	240	
認定こども園 十王幼稚園・保育園		十王町友部566-1	(39)2613	学校法人 山の尾学園	櫻村 雅子	1	33	6	0	30	27	34	91	6	8,626	1,973	鉄筋・鉄 骨・木造	280	
認定こども園 ひがしなるさわ幼稚園		東成沢町3-16-8	(35)7539	学校法人 しみず学園	池澤由実子	1	16	6	0	19	19	11	49	3	1,623	857	鉄筋造	95	
認定こども園ほへみ 学びの森わかば園	森山町1085-1	(33)8822	学校法人 たみ学園	櫻本恵美子	0	25	15	1	12	9	12	34	3	7,605	977	木造	93		
すけ川幼稚園	諏訪町1-14-6	(33)1736	学校法人 助川学園	大江日出雄	0	5	9	0	10	10	14	34	3	1,332	531	木造	75		
	計			12園		7	257	119	5	190	173	191	559	55	53,874	16,032	—	1,815	

※ 園児数は、市外からの通園児を含まない。認定こども園の園児は、教育認定子ども園の人数。幼保連携型認定こども園の「教諭」は、「教育・保育教諭」と読み替える。

(3) 私立小学校、中学校、高等学校及び大学

(令和4年5月1日現在)

学 校 名	所 在 地	学 科	学級数	児童・生徒・学生数	
小 学 校	私立久慈川三育小学校	留町1097-2	—	3	11
中 学 校	私立茨城キリスト教学園	大みか町6-11-1	—	9	263
	県立日立第一	若葉町3-15-1	—	6	239
高 等 学 校	県立日立第一	若葉町3-15-1	普通科 サイエンス科	19	714
	県立日立第二	鹿島町3-2-1	普通科	12	420
	県立日立工業	城南町2-12-1	全日制・機械科 電気科 情報電子科 工業化学科	15	430
			定時制・総合学科	4	14
	県立多賀	鮎川町3-9-1	普通科	18	707
	県立日立商業	久慈町6-20-1	商業科・情報処理科	15	588
	県立日立北	川尻町6-11-1	普通科	18	676
	私立明秀学園日立	神峰町3-2-26	全日制・普通科	28	940
			通信制・普通科	24	783
	私立茨城キリスト教学園	大みか町6-11-1	普通科	25	821
	私立翔洋学園	大みか町4-1-3	通信制・普通科	—	3,245
私立科学技術学園日立	西成沢町2-17-1	通信制・機械科	8	198	
大 学	国立茨城大学	中成沢町4-12-1	(工学部) 機械システム工学科 電気電子システム工学科 物質科学工学科 情報工学科 都市システム工学科	—	1,930
			(文学部) 文化交流学科 現代英語学科 児童教育学科	—	1,137
	私立茨城キリスト教大学	大みか町6-11-1	(生活科学部) 心理福祉学科 食物健康科学科	—	630
			(経営学部)経営学科	—	310
		(看護学部)看護学科	—	354	

※国立茨城大学の学生数は、日立キャンパスに在籍している人数

### 3 学校再編の推進

#### (1) 学校再編推進事業

学校小規模化の進行が見込まれる中、子どもたちのより良い学習環境を確保するため、市立小中学校の適正配置の検討を進め、今後おおむね10年間に取り組む個別具体的な内容を明らかにするための「日立市立学校再編計画」を令和3年2月に策定した。この学校再編計画に基づき、順次統合を進める。

(参考)「日立市立学校適正配置基本方針（平成30年3月策定）」における「目指す学校規模」

【小学校】 クラス替えができる各学年2学級以上

【中学校】 クラス替えができ、かつ、国語、社会、数学、理科、英語に複数教員が配置できる各学年3学級以上

#### (2) 事業内容

##### ア 統合準備委員会の設置・運営

(ア) 統合対象校の教職員、保護者及び学校運営協議会委員等への説明（計画内容の共有）

※ 中学校の統合に係る説明は、関係小学校の保護者等にも行う。

(イ) 令和4年度設置対象校（3グループ）

① 駒王中・平沢中

② 久慈中・坂本中

③ 宮田小・仲町小・中小路小

【設置済み】 山部小・橿形小、東小沢小・坂本小

※  は再編後の学校の位置

##### イ 学校跡地活用検討委員会（令和3年12月設置）の運営

(ア) 学校再編により用途廃止となる学校の校舎や敷地等について、適正な管理と利活用が行えるよう、長期的かつ多様な視点から検討する。また、本検討委員会の効率的な運営のため下部組織である作業部会において、より具体的な協議を行う。

(イ) 学校跡地活用基本方針を作成後、個別の学校についての利活用方法（計画）を検討する。

##### ウ 中里小学校・中里中学校の統合に伴う義務教育学校の創設

(ア) 教職員、保護者及び学校運営協議会等への説明（説明内容の共有）

(イ) 統合準備委員会を令和3年8月に設置し、学校名の選定方法や児童生徒の服装等について協議。

(ウ) 中里小学校と中里中学校を統合し、令和4年4月に県北初の義務教育学校を開校。

## 4 教育指導

### (1) 日立市の学校教育目標

#### ア「たくましい体をつくる」

「たくましい体をつくる」とは、いわゆる心身両面の真の健康づくりを意味するものであり、すこやかな精神とじょうぶな体を育てることである。最近の生活環境の変化として、遊び場がない、仲間と体を思い切り動かして遊ぶということもないなど、子どもたちの「たくましさ」の育つ土壌が少なくなってきたことがあげられる。

これらに対処するためにも、学校体育、学校保健・安全、食育・学校給食、社会体育の充実そして、余暇活用能力の育成が求められている。特に、学校の教育活動の全体を通じて「生涯を健康に過ごす」「生涯にわたってスポーツを続けていく」等の態度を培うように心がけることである。

そのためには、子どもたちの豊かな体験活動を大事にし、それを通して「たくましさ」を身に付けていくことが大切である。

#### イ「科学する力を養う」

「科学する力を養う」とは、身近な社会、数理、自然事象に即して考え、その姿を客観的、分析的、総合的に把握し、真理を見出し、未知のもの、新しいものを発見し、創造していく問題解決の能力と態度を育てることである。

社会の急激な変化、情報化、国際化などの時代が進展する中で、科学する力の育成が肝要である。学校教育は、そのためにそれぞれの教科の本質や単元・教材の目標や内容に応じて、体験的な学習や問題解決的な学習を重視した主体的な学習活動によって、基礎的・基本的な概念を具体的に把握できるようにすることが大切である。

また、これからは生涯学習の基盤を培うという観点に立ち、社会の変化に自ら対応できる心豊かな人間の育成を目指して、創造的な知性と技能を育てる教育を重視していかなければならない。

#### ウ「思いやりの心を培う」

「思いやりの心を培う」とは、人間的な弱さや欠点を持っている人間同士が出会ったときに、相手の苦しみや悲しみの状況を相手の立場に立って（その人の苦しみ、悲しみ、そして、悩みを）共に感じ、少しでも心が和らぐように配慮する心情を育てることである。人間は苦しみや悩みを抱きながら精一杯生きているのが真実の姿であって、それへの共感と自覚なしには、本当の思いやりの心は発揮されないであろう。こうした心は言葉だけでなく、日常生活の種々の行為として現れてくるものである。思いやりの心を育てるには、教師がまず思いやりの心をもって子どもたちに接し、実践することである。さらに、教育活動全体を通じて子どもたちの豊かな情操を養うことが大切である。

### (2) 目指す子どもの姿「ひたちっ子」

- ・㊶ 広い視野で世界にはばたく 考える子
- ・㊷ たくましく未来を切り拓く 元気な子
- ・㊸ 地域を愛し心豊かに生きる やさしい子

#### ア 広い視野で世界にはばたく考える子

国際的な視野に立って物事を考え、行動する力をもてるようにするためには、日本人としての誇りを大切にしながら、コミュニケーション能力や表現力などを高めていくことが重要で

基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育み、主体的に学習に取り組む態度を養うことにより、社会に貢献する子どもの育成を目指します。

イ たくましく未来を切り拓く元気な子

自らに誇りをもち、変革の時代にあってもたくましく未来を切り拓く力を身に付けるためには、すべての子がお互いの人権を尊重しつつ、喜びも責任も分かち合いながら、その個性と能力を十分に発揮できる環境をつくることが重要です。

少子化や核家族化の進展等により、子どもたちが他者と関わる機会が減少する中で、社会全体で子どもを育てる気運を高めることにより、根気強く最後まであきらめずに物事に取り組む子どもの育成を目指します。

ウ 地域を愛し心豊かに生きるやさしい子

高度情報化社会が到来し、社会・経済がグローバル化する中で、郷土日立の伝統や文化を学び、自然に親しみ、地域を愛することは、子どもたちの豊かな人間性と社会性を育むために重要です。

他者を思いやる心、美しいものに感動する心、正義感や公正さを重んじる心、勤労観・職業観など、道徳教育や体験活動の充実を図りながら、豊かな心と創造力のあふれる子どもの育成を目指します。

(3) 学校教育施策の柱及び方向性

ア 確かな学力の定着と活用する力の育成

- 主体的・対話的で深い学びの実現
- 学びの連続性を大切にした教育活動の展開
- 家庭・地域と連携を図った様々な教育活動の充実
- 学力と感性を磨く読書活動の充実

イ 子ども一人一人に寄り添う教育の推進

- 自立と社会参加する力の育成
- 寄り添い支える指導力の向上
- いじめ・不登校対策の推進
- 教育相談体制の充実

ウ 豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

- 自己肯定感・自己有用感を高め、未来を切り拓いていく子どもの育成
- 感動する心を養う活動の充実
- 郷土を愛し、広く社会に貢献する子どもの育成
- 体力の向上と健康的な生活習慣の形成

エ 次代を担う力を磨き高める教育の推進

- 自ら学び、考え、社会を生き抜く力の育成
- 次世代を生き抜くための情報活用能力の育成
- 国際社会で活用でき、主体的に行動する態度や能力の育成
- 科学的思考力の基礎となる理数教育の充実

オ 学習環境の充実と地域とともにある魅力ある学校づくり

- 学習環境の整備・充実
- 地域とともにある学校づくり
- 自ら危険を回避し行動できる安全・防災教育
- 保護者の負担軽減

カ すべての子どもたちが安全・安心に過ごせる居場所づくり

- 子どもの居場所の整備・充実
- 学ぶ意欲に応える支援
- 配慮が必要な家庭への支援



(4) 令和4年度研究指定園・校

学校教育における教科・領域及び学習指導上の諸問題について、研究指定校を委嘱し、学校の実態に立脚した実践研究を進め、その成果を本市学校教育の振興に役立てるとともに、特色ある学校づくりを推進する。

〔茨城県教育委員会〕

学 校 名	指 定 内 容	指定期間
滑川小学校	体育大好き推進事業（推進校）	令和4～6年度
田尻小学校	体育大好き推進事業（拠点校）	令和4～6年度
仲町小学校	学力向上推進プロジェクト事業に係る授業力パワーアップ訪問校	令和4年度
大久保小学校	いばらきサイエンスキッズ育成事業「小学校における理科専科教員等による授業公開」	令和4年度
水木小学校	新たな体験学習プログラム	令和4年度
大みか小学校	日立みらいイノベータプログラム	令和4年度
日高小学校	新規採用教員(特別支援学校)協力校	令和4年度
日高中学校	1人1台端末を活用した学びのイノベーション推進プロジェクト	令和4年度
駒王中学校	保健体育課計画訪問	令和4年度
滑川中学校	英語発信力向上事業に係る授業力アップサポート訪問校	令和4年度

(5) 中卒者の進路状況

(学校基本調査による)

卒年度	卒業者数 (人)	進学者数 (人)	進学率 (%)	県進学率 (%)	就職者数 (人)	就職率 (%)
平成28	1,906	1,893	99.3	97.2	1	0.1
29	1,870	1,860	99.5	98.9	2	0.1
30	1,682	1,674	99.5	97.4	0	0.0
元	1,509	1,503	99.6	98.5	0	0.0
令和2	1,398	1,388	99.3	98.9	2	0.1

(6) 長欠児童生徒の推移（30日以上）

（単位：％）

年度	小 学 校			中 学 校		
	日立市	茨城県	全 国	日立市	茨城県	全 国
	(0.29)	(0.51)	(0.47)	(2.81)	(3.14)	(3.14)
平成29	1.09 (0.44)	1.05 (0.57)	0.87 (0.54)	3.92 (2.81)	4.01 (3.10)	3.96 (3.25)
30	0.92 (0.45)	1.23 (0.81)	1.30 (0.70)	3.74 (2.23)	4.38 (3.45)	4.76 (3.65)
令和元	1.43 (0.79)	1.50 (0.90)	1.41 (0.83)	5.33 (4.18)	4.82 (3.78)	5.01 (3.94)
2	1.28 (0.94)	1.83 (1.06)	1.80 (1.00)	6.39 (4.91)	5.21 (3.95)	5.36 (4.09)
3	2.04 (1.32)			7.07 (5.46)		

※（ ）内は「不登校」のみの比率

(7) 令和3年度 体力・運動能力調査平均値の市と県の比較

平均値は市、県ともに令和元年度のもの  
 ◎印は市の平均値が県の平均値を上まわっているもの  
 ○印は市の平均が県の平均値と同じもの

(茨城県学校保健会の資料による)

	子																	
	男									女								
	小1		小2		小3		小4		小5		小6		中1		中2		中3	
握力 (kg)	9.0	9.3	10.7	10.8	◎12.7	12.6	14.4	◎16.7	16.6	◎20.0	20.0	◎25.1	24.3	◎30.1	29.8	◎34.7	34.6	
上体起こし (回)	◎13.2	12.3	◎15.2	14.9	◎17.6	17.2	18.8	◎20.7	20.4	◎23.1	22.3	◎25.7	24.3	◎29.7	27.4	◎31.1	29.7	
長座体前屈 (cm)	26.3	26.6	◎29.5	29.1	◎32.0	30.7	32.7	◎37.8	35.7	◎38.5	38.4	◎44.3	41.8	◎50.4	46.9	◎53.3	50.1	
反復横とび (回)	27.0	27.5	◎32.4	31.6	33.6	34.7	38.8	◎42.8	42.4	◎46.0	45.6	48.0	48.1	◎54.0	52.5	◎56.4	55.3	
20mシャトルラン (回)	21.4	21.8	◎32.1	30.2	◎40.9	38.5	45.4	◎54.7	52.2	◎60.3	59.5	◎72.4	66.5	◎89.4	84.5	◎96.5	92.4	
50m走 (秒)	◎11.4	11.5	○10.6	10.6	◎9.9	10.1	9.6	◎9.2	9.3	○8.8	8.8	◎8.3	8.4	◎7.6	7.7	○7.3	7.3	
立ち幅とび (cm)	116.4	116.6	125.4	127.0	◎141.9	137.9	◎147.7	153.4	153.9	165.6	166.0	◎183.1	180.8	◎205.3	200.6	◎215.6	214.6	
ソフト・ハンドボール投げ(m)	7.7	8.0	10.7	11.0	◎14.1	14.0	17.2	19.5	20.4	24.4	24.7	17.6	17.9	20.8	21.3	23.5	24.1	
合計点 (点)	31.3	31.5	◎38.8	38.4	◎45.3	44.3	◎50.7	◎55.5	54.8	◎61.3	61.0	◎36.5	34.7	◎47.2	44.5	◎53.1	51.4	

	子																	
	男									女								
	小1		小2		小3		小4		小5		小6		中1		中2		中3	
握力 (kg)	8.6	8.8	10.2	10.3	12.0	12.2	14.1	◎17.0	16.7	◎20.0	19.7	◎22.0	21.9	◎24.9	24.3	◎25.9	25.9	
上体起こし (回)	○12.2	12.2	14.3	14.5	○16.8	16.8	18.6	◎20.1	19.8	◎21.5	20.9	◎22.7	21.4	◎25.8	24.1	◎27.0	25.4	
長座体前屈 (cm)	◎28.9	28.9	◎32.3	31.6	◎35.3	33.9	36.7	◎42.2	40.0	◎44.1	43.2	◎47.9	45.7	◎52.5	49.6	◎54.1	52.1	
反復横とび (回)	26.2	26.9	◎31.0	30.9	33.1	34.3	37.8	◎41.8	41.3	◎43.8	43.5	◎44.9	44.5	◎48.4	47.7	◎49.3	48.5	
20mシャトルラン (回)	18.3	18.5	◎26.4	25.3	◎33.5	31.7	38.6	◎48.2	45.9	◎50.4	49.8	◎56.1	51.5	◎65.0	59.3	◎62.3	58.8	
50m走 (秒)	○11.8	11.8	○10.8	10.8	○10.3	10.3	9.8	◎9.3	9.4	◎9.0	9.1	◎8.8	8.9	◎8.4	8.6	◎8.4	8.5	
立ち幅とび (cm)	108.0	109.3	119.5	120.8	◎133.2	131.4	139.8	148.5	149.4	◎157.9	157.6	◎166	163.7	◎175.5	172.8	◎175.6	175.4	
ソフト・ハンドボール投げ(m)	5.7	5.9	◎7.9	7.9	9.7	9.8	12.0	14.3	14.4	16.3	16.4	11.7	11.9	◎14.1	13.7	◎15.1	14.7	
合計点 (点)	31.8	32.3	◎40.1	39.9	◎46.7	46.4	◎52.9	◎59.2	58.2	◎63.8	63.0	◎47.4	45.5	◎55.4	52.9	◎56.9	55.7	

## 5 教育研究所事業

### (1) 基本方針

日立市の学校教育の充実・発展に寄与するため、教育課題についての先導的・実践的な調査研究、教職員の資質向上のための研修、教育相談、教育情報の収集・提供等を行う。

### (2) 重点事項

- ア 教育課題解決のための専門的・技術的な事項の調査研究の充実
- イ 教育専門職としての資質向上のための教職員研修の充実
- ウ 幼児・児童生徒支援のための教育相談の充実
- エ 教育情報の収集・提供の充実

### (3) 事業内容

#### ア 教育課題調査研究事業

今日的な教育課題に関する調査研究を実施し、園・学校の教育活動がより円滑に推進できるよう成果の普及に努める。

- (ア) 教育課題解決のための専門的・技術的な調査研究
  - (イ) 幼児・児童生徒の学習や生活に関する意識や実態についての調査研究
  - (ウ) 幼児・児童生徒理解のための教育的資料の作成や教育情報の収集と提供
  - (エ) 教育課題調査研究会議の設置
    - ・調査研究員に委嘱した教職員による今日的な教育課題についての実態調査
    - ・本市教育の充実・発展を図るための調査研究と成果の普及

#### イ 教育相談事業

学校訪問担当相談員の学校派遣や適応指導教室「ちゃれんじくらぶ」の設置・運営を行い、児童生徒、保護者及び教職員に対して教育相談を実施することにより、不登校・発達障害など教育上の諸問題の早期解決を図る。

- (ア) 学校訪問相談
  - 面接相談…主に不登校や登校しぶりの児童生徒や保護者、教職員との面談
  - 家庭訪問…不登校や登校しぶりの児童生徒の家庭への訪問
  - 事例検討…生徒指導部員会や個別のケース会議への出席
- (イ) 適応指導教室「ちゃれんじくらぶ」（多賀教室、日立教室）の運営
  - 不登校に陥っている児童生徒の生活と活動の場として「ちゃれんじくらぶ」を設置し、仲間とのふれあいを通して自立心や適応力を養い、社会生活への自立を目指した支援を行う。
- (ウ) 不登校対策支援
  - 体験活動の実施（栽培、制作、調理、野外活動、校外学習等）
  - 保護者への支援（教育相談、家庭訪問、保護者の集い等）
  - 不登校に関する研修会の実施
- (エ) 教育相談員の研修
  - 相談活動に見られる事例研究や協議
  - 専門的な分野の研修

### ウ 教職員研修事業

本市教育の充実・発展を目指して、教育実践上の課題解決のための研修と教育専門職としての資質・職能の向上を図る。

- (ア) 職層や経験に応じた研修
- (イ) 専門性を高める研修
- (ウ) 特別研修
- (エ) 共催研修（幼稚園・こども園教育研究会、市教育研究会専門部）
- (オ) その他の研修

### エ 日立市こども発達相談センターの運営

発達障害に関わる悩み相談、心理検査、小集団によるスキル指導、医療相談、幼稚園・保育園等への巡回訪問、理解啓発のためのリーフレットの配布及び研修会等を実施し、発達障害を含む障害のある子どもやその保護者に対して、早い段階から一貫した支援を行うことにより、園や学校生活における不安軽減を図る。

- (ア) 所内相談…センター内で教育相談員が対応する面接相談・電話相談
- (イ) 巡回訪問…教育相談員が保育園・幼稚園・認定こども園に訪問し情報交換を実施
- (ウ) 医療相談…小児科・心療内科等の医師が対応する相談
- (エ) 心理検査…教育相談員によるWISC・田中ビネー等の検査を実施、小中学校へ心理検査員を派遣
- (オ) 各種研修会…教職員・保育士・保護者・市民対象の発達障害に関する研修会、教職員対象の発達障害対応実技研修会
- (カ) 小集団活動…少人数によるソーシャルスキルの手法を取り入れた「なかよし教室」の実施
- (キ) 小集団活動実践研修…幼稚園教諭及び保育士を対象とした、なかよし教室におけるソーシャル・スキル・トレーニング指導力向上を図る研修
- (ク) 関係機関との連携…保健所の発達相談支援事業への参加（年4回）、日立市子どもセンターの総合相談への派遣（月2回）、健康づくり推進課の5歳児健康診査への協力

### オ 広報に関する事業

- (ア) 広報紙「りさーち」の発行
- (イ) 研究紀要・研究報告書の発行
- (ウ) 教育相談案内のリーフレット作成、配布
- (エ) 特別支援サポート体制のリーフレット作成、配布
- (オ) ホームページによる情報提供

## (4) 令和3年度各種事業の実施状況

### ア 調査研究

令和3年度「研究紀要」及び「研究報告書 使おう！活かそう！GIGA2021～日立市ICT活用ブック～」の作成、発行

イ 教育相談

(ア) 学校訪問相談の概要（令和3年度）

○相談人数と延べ相談件数 (実数：相談者の人数、延べ数：相談を受けた件数)

小学生		中学生		保護者		教職員		合 計	
実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数
223	1,075	197	978	147	331	30	95	597	2,479

○学年別相談人数 (人)

種 別	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合 計
小 学 生	14	25	39	54	44	47	223
中 学 生	53	73	71				197

○主訴別相談人数

(相談内容について) (人)

種 別	小 学 生	中 学 生	合 計
友人関係に関する相談	122	103	225
家庭生活に関する相談	26	17	43
身体・健康に関する相談	5	21	26
教職員との関係に関する相談	6	3	9
学業・進路に関する相談	11	3	14
無気力に関する相談	6	7	13
非行に関する相談	0	0	0
いじめに関する相談	0	0	0
その他	47	43	90
合 計	223	197	420

(不登校との関係) (人)

種 別	小 学 生	中 学 生	合 計
相談内容のうち、不登校に関連付けられる相談	45	81	126
相談内容のうち、不登校との関連が無い相談	178	116	294
合 計	223	197	420

(イ) 適応指導教室「ちゃれんじくらぶ」の概要

- 在籍者数：小中学生 20人（多賀教室11人、日立教室9人）
- 体験活動（常時活動の中での創作活動、英語活動など）
- 学習支援
- 家庭や学校との連携（在籍校教職員の活動参観、保護者会（年3回））
- 不登校対策支援事業への参加

(ウ) 不登校対策支援事業の概要

- 体験活動（歴史・動物ふれあい体験（郷土博物館・かみね動物園））
- 不登校に関するオンライン研修会（1回）

(エ) 教育相談員研修（2回）

ウ 教職員研修

(ア) 職層や経験に応じた研修

No.	研 修 会 名	参加人数	内 容
1	初 任 者 研 修 会	28	本市の学校教育の方針、初任者としての心得
2	特別支援教育研修会（2回）	92	特別支援教育コーディネーターの役割、保護者や関係機関との連携の仕方 WISC検査を含めた、みとりからの支援
3	幼児教育と小学校教育の接続のための研修会	59	幼児教育をめぐる動向、幼児教育スタートプランの必要性、接続のためのポイント

(イ) 専門性を高める研修

No.	研 修 会 名	参加人数	内 容
1	教師力パワーアップ講座① （教育論文）	12	教育論文の構想と書き方
2	教師力パワーアップ講座② （配慮を要する児童生徒への教育）	18	アセスメントから始まる支援 発達凸凹や愛着形成に課題がある児童生徒への対応
3	教師力パワーアップ講座③ （プログラミング教育及びICT機器を活用した授業改善）	38	プログラミング教育の必要性、プログラミング学習をとおして実現できること
4	Q U 活 用 研 修 会	42	QU検査でわかること、データのパターンから見た学級の傾向や個人への支援法

(ウ) 特別研修

No.	研 修 会 名	参加人数	内 容
1	一 般 教 養 研 修 会（2回）	75	自分らしい暮らし方、働き方を考える 現代の子どもたちとネット・ゲーム依存

(エ) 共催研修（幼稚園・こども園教育研究会・市教育研究会専門部）

No.	研 修 会 名	参加人数	内 容
1	幼 稚 園 学 級 経 営 研 修 会	34	一人一人の幼児が発達に必要な経験を重ねながら育ち合うための援助の在り方
2	幼 稚 園 実 技 研 修 会	30	日常の保育に活用できるリズム遊びやゲーム
3	道 徳 科 指 導 法 研 修 会	44	道徳科の授業づくり
4	夏 季 社 会 科 実 技 研 修 会	30	新聞の秘密を学ぼう
5	第1回発達障害の理解と支援研修会※	44	発達障害についてのアウトラインや困難さの理解と支援

※ 保護者・一般市民も受講対象

(オ) その他の研修

No.	研 修 会 名	参加人数	内 容
1	不 登 校 に 関 する 研 修 会※	29	4つの注意機能等、つまずきの原因となるものや感覚過敏、ASD等についての説明や支援法
2	第2回発達障害の理解と支援研修会※	66	感覚処理の偏りの4つのパターンに応じた支援の仕方、本人の「こだわり」を生かす視点

※ 保護者・一般市民も受講対象

エ こども発達相談センターの概要

(ア) 所内相談の概要（令和3年度）

○月別相談件数（延べ件数）

(件)

種別 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
面接相談	14	18	30	36	37	46	45	38	38	37	47	42	428
電話相談	11	23	36	34	18	30	29	26	40	49	27	29	352
合計	25	41	66	70	55	76	74	64	78	86	74	71	780

※面接相談の延べ件数428件に対する実人数は179人

○面接相談者の年齢構成の内訳（合計179人）

(人)

種別	4歳児	5歳児	6歳児	小学1年	小学2年	小学3年
人数	2	31	16	28	15	20
種別	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年	中学3年
人数	26	11	5	13	7	5

○面接相談の内訳（合計428件）

種別	件数
発達障害に関する相談	305
知的障害に関する相談	12
その他	46
不登校・登校しぶり	65
重複	0

(イ) こども発達相談センター主催研修会

○ 発達障害の理解と支援研修会（2回）



6 特別支援教育

(1) 特別支援学級設置状況及び児童生徒数（種類別、学校別、学年別）

ア 知的障害「令和3年度教育支援委員会審議対象者の就学状況」（P28参照）

イ 言語障害、自閉症・情緒障害

（単位：人）

学 年		1	2	3	4	5	6	合計
小学校	助川小（自閉・情緒）	—	3	5	2	5	2	17
	会瀬小（自閉・情緒）	1	—	4	2	5	5	17
	宮田小（自閉・情緒）	3	2	4	3	3	3	18
	滑川小（自閉・情緒）	4	1	1	3	4	6	19
	仲町小（自閉・情緒）	2	—	2	—	4	4	12
	中小路小（自閉・情緒）	1	2	1	—	2	3	9
	大久保小（自閉・情緒）	5	—	2	4	2	2	15
	河原子小（自閉・情緒）	—	4	1	3	1	1	10
	成沢小（自閉・情緒）	2	1	3	6	3	2	17
	諏訪小（自閉・情緒）	1	5	1	4	1	1	13
	水木小（自閉・情緒）	—	2	1	3	3	—	9
	大みか小（自閉・情緒）	—	4	2	1	6	5	18
	大沼小（自閉・情緒）	2	3	2	2	3	6	18
	金沢小（自閉・情緒）	2	1	4	7	5	—	19
	塙山小（自閉・情緒）	3	1	4	3	5	1	17
	油縄子小（自閉・情緒）	3	2	2	—	4	1	12
	田尻小（自閉・情緒）	1	5	1	4	8	2	21
	日高小（言語）	—	1	—	—	—	—	1
	日高小（自閉・情緒）	2	3	3	4	3	3	18
	豊浦小（自閉・情緒）	2	3	2	5	2	—	14
	久慈小（自閉・情緒）	1	—	2	8	3	2	16
	坂本小（自閉・情緒）	2	—	4	2	3	1	12
	櫛形小（自閉・情緒）	2	4	1	2	1	3	13
山部小（自閉・情緒）	—	—	—	2	1	1	4	
小 計	39	47	52	70	77	54	339	
中学校	助川中（自閉・情緒）	1	2	2	—	—	—	5
	平沢中（自閉・情緒）	—	—	1	—	—	—	1
	駒王中（自閉・情緒）	6	—	1	—	—	—	7
	滑川中（自閉・情緒）	9	7	4	—	—	—	20
	多賀中（自閉・情緒）	—	3	7	—	—	—	10
	大久保中（自閉・情緒）	5	5	7	—	—	—	17
	河原子中（自閉・情緒）	2	4	3	—	—	—	9
	泉丘中（自閉・情緒）	8	4	5	—	—	—	17
	台原中（自閉・情緒）	2	—	2	—	—	—	4
	日高中（自閉・情緒）	6	6	4	—	—	—	16
	豊浦中（自閉・情緒）	3	3	1	—	—	—	7
	久慈中（自閉・情緒）	2	3	5	—	—	—	10
	坂本中（自閉・情緒）	1	1	1	—	—	—	3
十王中（自閉・情緒）	6	3	3	—	—	—	12	
小 計	51	41	46	—	—	—	138	
合 計	90	88	98	70	77	54	477	

(2) 日立特別支援学校児童生徒数（学年別、症状別）

(単位：人)

部	学年	在籍数	療育手帳					視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	(車椅子利用)	病虚弱	自閉症	ダウン症	てんかん
			㊤	A	B	C	なし								
小学部	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	2	6	2	0	2	2	0	0	0	1	1	0	1	0	0
	3	12	1	3	2	2	4	1	1	5	5	0	4	1	0
	4	5	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0	5	0	0
	5	10	0	3	2	2	3	0	1	1	1	1	3	1	2
	6	12	3	2	4	3	0	0	0	1	1	1	4	1	2
	小計	46	7	8	12	12	7	1	2	8	8	2	18	3	4
中学部	1	18	1	2	3	9	3	0	0	1	0	1	13	0	3
	2	8	1	0	3	3	1	0	0	0	0	1	8	0	1
	3	13	2	1	2	5	3	0	0	1	1	1	8	0	3
	小計	39	4	3	8	17	7	0	0	2	1	3	29	0	7
高等部	1	16	2	3	4	7	0	0	0	1	1	2	9	1	1
	2	17	1	4	4	8	0	0	0	0	0	1	10	1	3
	3	26	2	4	5	14	1	0	2	2	2	0	10	2	0
	小計	59	5	11	13	29	1	0	2	3	3	3	29	4	4
合計		144	16	22	33	58	15	1	4	13	12	8	76	7	15

(3) 日立市教育支援委員会

ア 障害児の障害に応じた適正な就学指導の円滑な運営を図るため、教育委員会の諮問に応じ、次の事項について審査する。

(ア) 学齢期にある知的障害者、自閉症・情緒障害者、視覚障害者、聴覚障害者、言語障害者、肢体不自由者、病弱者及び重複障害者の判定

(イ) 学齢期にある就学猶予者及び小学校入学予定者のうち障害の疑いのある者の就学前の諸検査及びそれらの就学適否の判定

(ウ) 幼稚園入園予定者のうち障害の疑いのある者の就園前の諸検査及び適切指導

(エ) その他、適正な就学指導のため必要と認める事項

イ 令和3年度教育支援委員会審議対象者の就学状況（P28参照）

ウ 委員構成（P73参照）

令和3年度教育支援委員会審議対象者の就学状況

区分 校名	小学校 通常の学級 (要観察者を含む)		小学校 特別支援学級 (知的障害)		小学校 特別支援学級 (自閉症・情緒障害)		中学校 通常の学級 (要観察者を含む)		中学校 特別支援学級 (知的障害)		中学校 特別支援学級 (自閉症・情緒障害)		特別支援学級 (言語障害) (小学校のみ)		日立特別 支援学校 (重複者を含む)		水戸特別 支援学校		常陸・北茨城 特別支援学校		盲聾学級 判定		市内 転出 等 実際		R4年度 特別支援学級 (知的障害) 児童生徒数	
	判定	実際	判定	実際	判定	実際	判定	実際	判定	実際	判定	実際	判定	実際	判定	実際	判定	実際	判定	実際	判定	実際	判定	実際		
助川小	9		6	6	2	2									1	1									14	
会瀬小	8	1	2	2	1	4									1	1									5	
宮田小	7	1	2	4	4	1							1												10	
滑川小	6		3	3	3	3																			10	
仲町小	4	1	2			3																			—	
中小路小	1		1	1		3																			6	
大久保小	2					2																			10	
河原子小	6					6																			4	
成沢小	7		2	1	4	5																			8	
諏訪小	5	1	2	1	1	2							1												3	
水木小	2	1	1																						12	
大みか小	7		1	1	1	6																			5	
大沼小	6	1	4	3	1	2																			10	
金沢小	2		2	2	2	2																			5	
塙山小	5	1	2	2	2	1																			12	
油縄子小	5		1	1	3	2									2										5	
田尻小	12		9	9	9	3																			20	
日高小	6	1	1	2	2	3																			12	
豊浦小	7		3	3	3	4																			9	
久慈小	3	1	1	1	1	2																			5	
坂本小	6	3	3	1	1	2																			10	
栗小沢小																										
櫛形小	6		4	4	2	2																			17	
山部小																									4	
助川中	12						2	2	2	3	3	2			5	4								1	6	
平沢中																										
駒王中	19						9	11	2	1	7	7			1										6	
滑川中	16						1	1	4	4	9	10			1	1			1						17	
多賀中	7						2	2	2	3	4	2			1										10	
大久保中	19						4	7	6	5	9	7													10	
河原子中	5														1	1									3	
泉丘中	20						4	7	7	3	8	8			1	1								1	11	
台原中	7						2	5	1	1	4	2													2	
日高中	9														1										8	
豊浦中	6																								2	
久慈中	8						2	1	4	2	3	4							1	1				1	5	
坂本中	1																								1	1
十王中	16																								8	
中里中	1																								—	
日立特別支援																									—	
合計	268	11	21	45	43	58	54	22	40	40	33	70	62	2	—	15	9	1	—	1	1	—	—	—	285	

※ 校名の太字は特別支援学級（知的障害）設置校

## 7 幼稚園

### (1) 園児数及び就園率

区分	年度	令和30		令和元		2		3		4	
	年齢別	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児
	幼児数(人)	1,196	1,214	1,167	1,189	1,097	1,161	1,029	1,088	951	1,030
公立	園数(園)	13 (1)		12 (1)		9 (2)		5 (2)		5 (2)	
	園児数(人)	114 (9.5)	162 (13.3)	96 (8.2)	118 (9.9)	59 (5.4)	94 (8.1)	41 (4.0)	61 (5.6)	43 (4.5)	47 (4.6)
私立	園数(園)	21 (12)		21 (12)		20 (12)		20 (12)		20 (12)	
	園児数(人)	527 (44.1)	552 (45.5)	516 (44.2)	514 (43.2)	461 (42.0)	480 (41.3)	402 (39.1)	445 (40.9)	333 (35.0)	384 (37.3)

- ※ 1 幼児数は、各年度4月1日現在の日立市内住民登録者数  
 2 園数欄の（ ）内は、認定こども園の数（内数）。なお、園数には休園中の園は含まない。  
 3 園児数は、市外からの通園児を含まない。  
 4 園児数欄の（ ）内は、幼児数に対する就園児数の割合（単位：％）

### (2) 預かり保育

公立（※）・私立幼稚園及び認定こども園全園で実施している（休園中の園を除く）。

※平成22年10月から大沼幼稚園と田尻幼稚園、平成27年4月からみやた認定こども園、令和2年4月からはなやま認定こども園、令和3年5月から橿形幼稚園で実施。（令和3年度の延べ利用人数 大沼幼稚園37人、田尻幼稚園408人、橿形幼稚園147人、みやた認定こども園187人、はなやま認定こども園77人）

## 8 保護者負担軽減対策

### (1) ランドセル及びスクールカバン予算措置

保護者の経済的負担軽減及び入学祝いとして、新入学児童に対して薄型で軽いファスナー式ランドセルを贈呈するため、昭和50年度から予算措置している。

また、新たに令和2年度新入学生徒に対して大容量で丈夫なスクールカバンを贈呈するため、令和元年度から予算措置している。

#### 予 算 措 置 状 況

(単位：千円)

区分	年度	平成30	令和元	2	3	4
ランドセル		11,687	11,301	11,753	11,742	10,348
スクールカバン		—	14,850	12,870	13,662	9,769

### (2) 学校給食費助成予算措置

児童生徒の学校給食費を一人当たり月額500円助成することで保護者の負担を軽減するため、平成30年度から予算措置している。（令和2年度と3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、子育て世帯の支援策として実施した給食費の全額助成を含む。）

#### 予 算 措 置 状 況

(単位：千円)

区分	年度	令和元	2	3	4
学校給食費助成		68,893	209,983 (全額助成分：142,498)	65,135 (全額助成分：5,194)	63,037

### (3) 氏名ゴム印予算措置

私費負担となっていた新入学児童生徒用氏名ゴム印を、昭和53年度から予算措置している。

#### 予 算 措 置 状 況

(単位：千円)

区分	年度	平成30	令和元	2	3	4
氏名ゴム印		292	266	253	247	246

### (4) 部活動関係予算措置

部活動は自主的参加であるので、原則として私費負担としながら、スポーツ・文化活動を通じて心身ともに健全な青少年を育成する見地から、より活発な活動及び積極的な参加を促進するため、関係費用の一部を予算措置している。

#### 予 算 措 置 状 況

(単位：千円)

区 分	年 度	平成30	令和元	2	3	4
部活用ユニホーム・ボール類		3,630	3,703	3,698	3,698	3,795
吹奏楽部用楽器		3,775	3,775	3,775	3,775	3,775
各種大会参加補助		14,173	14,173	14,173	14,173	14,173

(5) 自転車通学生徒用ヘルメット購入費予算措置

遠距離通学等の理由により、自転車通学が認められた生徒のヘルメット購入費を援助することにより、登下校の交通安全対策と保護者の負担を軽減するため予算措置している。

（対象校）豊浦中学校、久慈中学校、坂本中学校、中里中学校、十王中学校

予 算 措 置 状 況

（単位：千円）

区 分 \ 年 度	平成30	令和元	2	3	4
ヘルメット購入費補助	87	87	87	86	86

## 9 学校施設整備状況

今日の学校施設は、児童・生徒が1日の大半を過ごす学習・生活の場であるとともに、地震等災害時における避難所としての役割、学校施設開放やコミュニティ活動等の地域住民の活動拠点としての役割など多様な機能が求められている。

本市の学校は、昭和50年前後に建設された施設が全体の6割を占め、耐震性に課題があった。そのため、校舎については、平成24年度から耐震補強を実施し、また、避難所となる屋内運動場については、平成22年度から大規模改造及び耐震補強を実施した。さらに、耐震性の課題に加えて、老朽化が著しい校舎・屋内運動場については、改築により耐震化を図ったことにより、現在の耐震化率は約99%となっている。

耐震補強のみを実施した校舎の老朽化対策については、トイレの改修や普通教室等への情報通信ネットワーク環境整備など施設の環境改善を実施することにより当面の課題に対処しつつ、校舎の長寿命化や健全な学習・生活環境の改善を図るため大規模改造に取り組んでいる。

### 主要事業状況

(令和4年4月現在)

年 度	事 業 内 容
平成 30	久慈小学校校舎・屋内運動場改築事業
	豊浦小学校校舎改築事業
	日高小学校校舎改築事業
	トイレ改修事業（仲町小、大みか小、中里小、櫛形小、豊浦中、十王中）
令和 元	久慈小学校校舎・屋内運動場改築事業
	豊浦小学校校舎改築事業
	日高小学校校舎改築事業
	中里中学校校舎改築事業
	十王中学校屋内運動場改築事業
	トイレ改修事業（河原子小、金沢小、駒王中）
	普通教室等空調設備設置事業（小学校19校、中学校12校）
	屋内運動場トイレ整備事業（滑川小、会瀬小、坂本小、成沢小、大久保小、河原子小、多賀中）
2	久慈小学校校舎・屋内運動場改築事業
	豊浦小学校校舎改築事業
	日高小学校校舎改築事業
	中里中学校校舎改築事業
	十王中学校屋内運動場改築事業
	トイレ改修事業（滑川小、成沢小）
	屋内運動場トイレ整備事業（豊浦小、田尻小、仲町小、中小路小、宮田小、金沢小、大みか小、滑川中、台原中）
	情報通信ネットワーク環境整備事業（小学校22校、中学校14校）
3	日高小学校校舎改築事業
	中里中学校校舎改築事業
	十王中学校屋内運動場改築事業
	トイレ改修事業（大久保小、泉丘中、河原子中）
	屋内運動場トイレ整備事業（油縄子小、塙山小、水木小、大沼小、諏訪小、日高小、中里中）
4	中里中学校校舎改築事業
	十王中学校屋内運動場改築事業
	トイレ改修事業（滑川中、多賀中）
	屋内運動場トイレ整備事業（助川小、成沢小、大久保中、泉丘中）

## 10 教材教具整備状況

### (1) 教材整備及び図書整備

教材整備については、授業の形態や指導方法も多様化していることから、引き続き教材教具の整備充実を計画的に進めていく。

特に学校図書については、子どもの読書活動推進法の成立や確かな学力育成事業の実施等により学校図書館の重要性が高まっていることから、教科書改訂を踏まえ、新たに授業で使う図書の整備を図る。

### (2) 教育用コンピュータ等の整備

情報技術の急速な発達により、社会の様々な分野で情報化が進んでいる。また、令和2年度からの新学習指導要領では、小学校においてプログラミング教育を必修化するなど、情報活用能力を言語能力等と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けている。

令和4年度は、令和2年度に文部科学省の「GIGAスクール構想」を踏まえて整備した、児童生徒1人1台のコンピュータ及び高速な情報通信ネットワーク並びにプロジェクター・電子黒板等について、引き続き、環境の維持向上を図りながら、わかりやすい授業づくりを支援するとともに「情報活用能力」及び「自ら学び、考え、行動する力」の育成を図る。

#### 学校におけるコンピュータ等の整備状況

(令和4年4月1日現在)

	小学校25校	中学校15校	特別支援学校1校	計
台数(台)	8,384	4,657	233	13,274

※ 教職員及び児童生徒1人1台（予備等含む）

※ 全てのコンピュータから、インターネットを安全に利用することができる。



11 保健と安全

(1) 学校保健

学校における園児及び児童生徒並びに教職員の定期健康診断や結核検診については、市医師会・歯科医師会及び公益財団法人日立メディカルセンター、株式会社日立製作所日立総合病院等との連携により実施している。特に、小学1年生・中学1年生及び特別支援学校の全児童生徒については、定期健康診断とともに、心疾患の早期発見のため、心臓検診を公益財団法人日立メディカルセンターに委託し実施している。また、尿検査は、公益財団法人茨城県総合健診協会に依頼し実施している。

また、小・中学校における児童生徒の心の健康相談等に応ずるため、学校心療内科医を設置し、心の健康に問題を持つ児童生徒に対し、専門的立場から相談及び助言、指導を行っている。

教職員については、全員を対象に尿、貧血、肝機能、血中脂質、心電図検査、結核検診間接撮影等の一般健康診断を、40歳以上の者には胃部検診を実施している。

また、平成6年度からは、日立養護学校（平成24年4月1日から日立特別支援学校に改称）教職員、平成7年度からは、小・中学校養護教諭も対象に加えて、B型肝炎予防接種を実施している。

学校環境衛生については、市学校薬剤師会の協力の下に、飲料水水質検査、プール水質検査、教室照度検査、空気検査等の検査・測定を行うとともに、不快害虫の生息調査、駆除を行い、児童生徒がより良い環境で学習できるよう努めている。

また、児童生徒個々の身体測定の結果、スポーツテスト等の記録を電算処理し、各人毎の健康度（体格・体力・運動能力等）を判定し、これらを健康管理、健康指導教育の資料として活用する健康度判定事業委託を実施している。

学校医・歯科医・薬剤師

令和4年4月1日現在（単位：人）

	学 校 医	管 理 医	歯 科 医	特別支援学級医	心療内科医	薬 剤 師
幼 稚 園	3	3	3	0	0	3
小 学 校	39	24	33	2	4	21
中 学 校	23	14	19			13
義務教育学校	1	1	1			1
特別支援学校	4	1	2	0	0	1
計	70	43	58	2	4	39

※ 管理医は学校医の内数

主な疾病異常の状況（児童・生徒疾病別被患率比較）

（単位：％）

年度	区 分		う 歯		視 力 (1.0未満)	口腔咽喉 頭疾患 ・異常	結膜炎 他の眼病 含 む	心臓疾患	ぜんそく	四 肢・ せき柱・ 胸郭異常
			処 置 完了者	未 処 置 者						
平成 29	小学校	日立市	23.9	23.4	33.4	1.1	26.8	1.6	6.6	1.1
		全 国	24.7	24.2	31.5	1.4	5.4	0.7	3.7	1.8
	中学校	日立市	16.5	18.5	54.5	0.4	30.6	1.7	5.1	1.4
		全 国	21.0	16.5	54.6	0.7	5.1	0.8	2.9	3.4
30	小学校	日立市	22.2	22.2	35.0	2.2	27.0	1.6	6.9	0.9
		全 国	23.1	22.2	34.1	1.3	5.7	0.8	3.5	1.1
	中学校	日立市	20.3	16.6	54.4	0.3	32.1	1.4	4.4	1.6
		全 国	20.4	15.0	56.0	0.8	4.9	1.0	2.7	2.4
令和 元	小学校	日立市	22.4	21.8	36.7	2.0	30.9	1.8	7.0	0.4
		全 国	23.1	21.7	34.6	1.3	5.6	0.9	3.4	1.1
	中学校	日立市	20.7	15.9	59.3	0.3	41.2	1.5	6.8	0.5
		全 国	19.8	14.2	57.5	0.7	5.4	1.0	2.6	2.1
2	小学校	日立市	19.1	17.5	39.7	1.2	33.3	1.4	7.0	0.7
		全 国	20.6	19.6	37.5	1.0	4.8	0.8	3.3	0.9
	中学校	日立市	21.0	15.9	57.8	0.2	36.8	1.9	6.5	0.8
		全 国	18.8	13.4	58.3	0.5	4.7	1.0	2.6	1.7
3	小学校	日立市	20.4	18.1	40.4	0.6	38.0	1.4	7.4	0.4
		全 国	19.9	17.7	39.8	0.8	4.8	0.8	2.7	0.8
	中学校	日立市	24.5	12.9	61.7	0.1	46.3	1.7	6.7	0.8
		全 国	19.2	12.6	64.7	0.5	4.4	1.0	1.8	1.9

(2) 学校安全

災害発生の状況は、小学校では休憩時間での骨折、打撲が多く、また中学校においては、部活動での骨折、打撲が多くみられる。小・中学校共通して、体育時のけがも多くみられる。

このような状況を踏まえ、今後の対策としては、各学校へ各種資料等を提供し、学校安全推進のための啓もうを図るとともに、児童生徒の日頃の心身状態を把握し、登下校を含め教育活動全体を通して安全についての指導徹底を図っていきたい。

災害発生件数

（単位：件）

年 度	小 学 校	中 学 校	計
平成29年度	470	451	921
平成30年度	432	637	1,069
令和元年度	419	450	869
2	365	296	661
3	358	346	704

月別災害発生件数

(単位：件)

	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	年度												
小学校	平成29	40	20	41	43	32	16	24	58	58	57	65	50
	30	24	57	46	26	1	65	55	47	42	41	35	31
	令和元	26	40	51	19	0	41	66	57	36	25	37	34
	2	8	1	29	40	16	40	76	51	48	25	31	0
	3	33	33	47	14	0	3	53	40	42	23	36	34
中学校	平成29	50	33	67	45	63	46	68	73	52	44	52	56
	30	40	29	44	48	67	13	62	58	51	34	32	43
	令和元	37	63	48	34	18	62	41	19	27	30	43	29
	2	1	3	37	36	34	52	30	33	31	18	21	0
	3	35	50	41	35	8	2	43	40	33	18	13	28

傷害別災害発生件数

(単位：件)

	傷害	骨折	ねんざ	切・挫創	打撲	眼・角膜	歯冠	その他
	年度							
小学校	平成29	88	84	26	192	69	26	75
	30	94	54	22	196	55	21	66
	令和元	90	61	21	175	36	20	72
	2	80	47	25	163	52	9	50
	3	78	66	19	138	55	16	57
中学校	平成29	129	94	10	139	34	8	76
	30	128	117	15	169	42	6	208
	令和元	122	96	9	142	57	4	81
	2	79	62	9	96	25	3	50
	3	83	79	3	128	37	2	53

## 12 学校給食

### (1) 学校給食共同調理場の概要

#### ア 名称及び所在地

日立市北部学校給食共同調理場	日立市砂沢町758番地27
日立市南高野学校給食共同調理場	日立市南高野町1丁目23番11号

#### イ 敷地及び建物面積、その他

区 分	敷地面積	建物面積	開設年月日
北 部	15,791㎡	3,161㎡	平成31年4月1日
南 高 野	7,083㎡	3,638㎡	平成19年8月1日

#### ウ 主要設備、備品

(単位：台)

品 名	数 量		品 名	数 量	
	北 部	南高野		北 部	南高野
蒸 気 回 転 釜	20	20	食 器 洗 淨 機	3	2
蒸 気 自 動 回 転 釜	0	4	食 缶 洗 淨 機	1	1
ガ ス 回 転 釜	1	0	エ ア ー シ ャ フ ー	4	4
調 理 台	47	23	生 鮮 食 品 用 冷 蔵 庫	8	5
上 流 し	34	25	大 型 冷 凍 庫	2	2
作 業 台	31	27	保 存 食 用 冷 凍 庫	1	2
自 動 浸 漬 槽	0	1	揚 物 機	1	1
超 音 波 洗 淨 機	1	3	球 根 皮 剥 機	3	3
パ ン ラ ッ ク	30	30	サ イ ノ 目 切 機	2	2
コ ン テ ナ	52	61	自 動 連 続 切 裁 機	3	1
食 器 消 毒 保 管 庫	10	2	フ ー ド ミ キ サ ー	3	3
厨 芥 処 理 機	1	1	ボ イ ラ ー	2	3
コ ン テ ナ 洗 淨 機	1	1	殺 菌 庫	26	17
蒸 気 む し 庫	0	2	コ ン ベ ク シ ョ ン オ ー プ ン	6	1

#### エ 給食対象人員

(令和4年5月1日現在) (単位：人)

校別 区分	小 学 校			中 学 校			調理場 関係数	計
	学校数	児童数	教職員数	学校数	生徒数	教職員数		
北 部	12	3,575	355	9	2,199	239	47	6,415
南 高 野	14	3,475	433	8	1,961	257	40	6,166
計	26	7,050	788	17	4,160	496	87	12,581

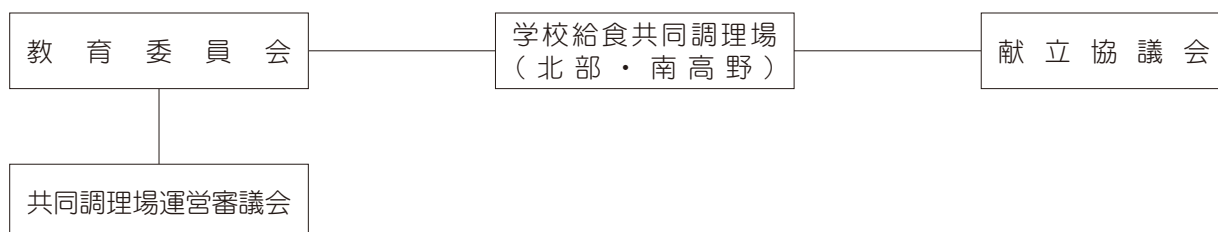
※ 県立日立第一高等学校附属中学校分（生徒240人、教職員等21人）は北部調理場を含む。

※ 中里小中学校（義務教育学校）1～6年生（児童26人、教職員等10人）は北部調理場の小学校分、7～9年生（生徒26人、教職員等13人）は北部調理場の中学校分を含む。

※ 特別支援学校小学部（児童41人、教職員等46人）は南高野調理場の小学校分、特別支援学校中・高等部（生徒94人、教職員等44人）は南高野調理場の中学校分を含む。

(2) 運営管理

(機構)



ア 共同調理場運営審議会

共同調理場の運営管理については、職員及び施設、設備、栄養、衛生、給食物資及び給食費等、極めて多面的であり、かつ複雑であることから、学校長、保護者代表、市議、学校医及び学校薬剤師等で組織する運営審議会を諮問機関として設け、共同調理場の運営に関する事項について諮問する。

(ア) 主な諮問事項

学校給食の計画に関する事項、学校給食費に関する事項、その他学校給食の運営上重要な事項

(イ) 運営審議会委員（P76参照）

イ 献立協議会

学校の給食主任と調理場栄養士で構成し、献立の内容検討や課題の整理、給食提供に係る諸事項について協議を行うとともに、情報を共有する場とする。

### 13 通学用スクールバス

行政改革を推進するため、恒常的な運行形態である「中里スクールバス及び日立特別支援学校スクールバスの運行管理業務」を平成11年4月から民間に委託し、経費削減及び事業の効率化を図っている。

#### (1) 中里小中学校スクールバス

教育の機会均等の趣旨に基づき、学校統合に伴い遠距離通学となる児童生徒に対して、昭和42年9月から通学送迎用としてスクールバスを運行している。

さらに、昭和56年9月から、児童生徒の登下校に支障のない範囲で、次の場合に運行している。

- 小・中学校児童生徒の競技会等選手を派遣する場合の送迎
- その他教育長が認めた場合

なお、平成25年4月1日から小規模特認校制度による遠距離通学者の利用を可能としている。

#### ア 利用者数（中里小中学校学区内児童生徒及び小規模特認校制度による児童生徒）

区分	年度	平成30	平令和元	2	3	4
小 学 校		11	13	15	15	15
中 学 校		12	14	10	8	17

#### イ 利用形態

中里小中学校の児童生徒の通学送迎用として、スクールバス1台が日立駅⇄中里小中学校間を運行している。なお、運行にあたり、運転員1人、添乗員1人が配置されている。

#### (2) 日立特別支援学校スクールバス

昭和43年の開校以来、小学部3年生までは保護者付添いによる通学、小学部4年生以上から自力通学を原則として地域社会との接触を図ることを教育方針としてきたが、近年、自力通学困難な重度障害児童生徒が増加傾向にあり、保護者の付添通学が増加したため、保護者負担の軽減を図るために昭和60年12月から通学送迎用として運行している。平成26年度に更新した市所有の3台に加え、平成29年度から事業者所有のバスを1台増便し、現在、4台のスクールバスを運行している。

#### ア 利用者数（日立市内から通学する児童生徒のうち、保護者付添通学を必要とする者）

コース	年度	平成30	平令和元	2	3	4
北部方面コース		25	22	23	21	21
南部方面コース		26	20	18	11	12
中央コース(北部)		29	29	30	26	27
中央コース(南部)		23	13	14	12	23
計		103	84	85	70	83

#### イ 利用形態

日立特別支援学校児童生徒の通学送迎用として、スクールバス4台が市内の各方面を運行している。なお、運行にあたり、運転員4人、介助員8人（バス1台に2人乗車）が配置されている。

14 放課後児童対策

〔総合的な放課後児童対策の推進〕

共働き家庭などの「小1の壁」・「待機児童」の解消を図るとともに、次代を担う人材を育成するため、全ての就学児童が放課後などを安全・安心に過ごし、様々な体験や学習などを行うことができるよう、放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の2つの事業の特性を生かしつつ、連携して実施する。

(1) 放課後児童健全育成事業

放課後や学校休業日に、保護者が就労などにより家庭にいない児童に適切な遊び及び生活の場を提供し、利用児童の健全育成及び子育て支援の充実を図る。

ア 公設児童クラブ

市が、市立小学校内に開設する児童クラブで、運営は、各児童クラブの運営協議会に委託している。

(ア) 開設場所 各小学校の余暇教室等

(イ) 開設日時

a 平日 下校時～午後6時（延長：午後7時まで）

b 土曜日、長期休業期間、学校振替休業日等

午前8時～午後6時（延長：午前7時30分から、午後7時まで）

(ウ) 受入対象学年 全学年

(エ) 開設状況

a 開設校 24校（38単位）

b 登録者数 1,235人

c 内訳（令和4年5月1日現在）

（単位：人）

学校名	単位数	登録者数
助川	2	74
会瀬	2	46
宮田	2	73
滑川	1	39
仲町	1	15
中小路	1	10
大久保	2	70
河原子	1	48
成沢	1	42
諏訪	2	58
水木	2	64
大みか	1	32
大沼	3	119

学校名	単位数	登録者数
金沢	1	39
埴山	1	37
油縄子	2	53
田尻	1	44
日高	2	98
豊浦	2	68
久慈	2	58
坂本	2	67
東小沢	0	0
中里	0	0
櫛形	2	68
山部	1	8
特別支援学校	1	5

(オ) 実績（令和3年度）

a 開設校 24校（35単位）

b 登録者数 1,008人（令和4年3月1日現在）

イ 民間児童クラブ

市内で児童クラブを実施している民間事業者に対し、運営費を補助する。

(ア) 開設状況

- a 補助金交付クラブ数 10か所 (10単位)
- b 登録者数 335人
- c 内訳 (令和4年5月1日現在)

(単位：人)

クラブ名	所在地 (学区)	単位数	登録 者数	実施主体
おおぞら学童クラブ	若葉町 (中小路小)	1	34	保護者会
風の子学童クラブ	鮎川町 (成沢小)	1	16	保護者会
ひかり学童クラブ	末広町 (大久保小)	1	20	保護者会
埴山こどもわくわく広場	金沢町 (埴山小)	1	30	埴山学区 住みよいまちをつくる会
城の丘じゅうおうランド	十王町城の丘 (櫛形小)	1	44	NPO法人 城の丘豊生会
南高野保育園 レインボーキッズ学童クラブ	茂宮町 (坂本小)	1	42	南高野保育園
滑川聖徳保育園学童クラブ	滑川本町 (滑川小)	1	20	滑川聖徳保育園
こどものいえ学童クラブ	日高町 (日高小)	1	35	こどものいえ認定こども園
豊浦さくら学童クラブ	折笠町 (豊浦小)	1	43	豊浦さくら保育園
いしまち学童クラブ	十王町伊師 (櫛形小)	1	51	いしまち認定こども園

(イ) 実績 (令和3年度)

- a 補助金交付クラブ数 10か所 (10単位)
- b 登録者数 331人 (令和4年3月1日現在)

(2) 放課後子ども教室事業

共働き家庭等を含めた全ての子どもを対象として、学校施設や公共施設等の安全・安心な活動場所を活用し、地域住民や大学生等の様々な人材の協力を得て、学習支援や多様な体験プログラム、交流活動を実施する。

ア 開設場所 各小学校の余暇教室等

イ 開設日時 平日 下校時～午後5時30分

(長期休業期間は午前・午後の半日程度。原則、土・日曜日は実施しない。)

ウ 対象学年 全学年

エ 定員 30人程度

オ 開設状況

(ア) 開設校 19校

(イ) 登録者数 384人



(ウ) 内訳（令和4年6月1日現在）

（単位：回）

教室	実施場所	開設曜日	登録者数	委託先
助川	小学校図工室	水・金曜日	26	㈱アンフィニ
会瀬	小学校地域交流室	月・水曜日	10	
宮田	小学校専用教室	月・木曜日	30	
滑川	小学校学習室	月・木曜日	30	
仲町	小学校多目的室	月・木曜日	14	
中小路	旧中小路幼稚園遊戯室	火・金曜日	20	
成沢	小学校生活科室	水・金曜日	16	
田尻	小学校専用教室	火・金曜日	24	
日高	小学校ホール	火・木曜日	30	
豊浦	小学校PTA室	火・水曜日	30	
大久保	多賀図書館	火・水曜日	17	
河原子	ランチルーム	月・火曜日	9	
諏訪	小学校多目的室	火・金曜日	12	
水木	小学校地域交流室	木・金曜日	19	
大沼	小学校図工室	火・金曜日	25	
金沢	小学校学習室	月・水曜日	18	
埴山	小学校図工室	水・木曜日	13	
久慈	小学校会議室	火・水曜日	19	
坂本	小学校会議室	木・金曜日	22	

※令和4年度新規開設校 6校（宮田、仲町、中小路、成沢、河原子、金沢）

カ 実績（令和3年度）

(ア) 開設校 13校

(イ) 登録者数 351人（令和4年1月31日現在）

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、1月31日で令和3年度の活動を終了した。

## 15 スクールロイヤー

いじめや不登校への対応、保護者からの過大な要求やクレーム対応など、学校現場では様々な問題が日々発生している。そうした問題の解決や重篤化防止のため、学校が弁護士から法律や法的価値観に基づく助言を得られる体制を整え、「学校支援体制の強化」と「学校の危機管理能力の向上」、「教員の負担軽減」を図る。

スクールロイヤー相談回数の推移

（単位：回）

年度	令和元	2	3
相談回数	24	15	11

16 奨学金制度

(1) 奨学金貸付事業

日立市奨学金は、教育の機会均等を図り、有能な人材を育成するため、能力があるにもかかわらず経済的な理由によって就学が困難な高校生に対し学資を貸し付けることを目的に、昭和40年に設置された。その後、対象を大学生等にも広げ、市独自に入学準備金制度を設けたほか、貸付額の引き上げを行ってきた。

奨学金は、昭和54年度から基金制度による運用となり、令和3年度末の基金額は5億7,315万4千円（目標額5億7,500万円）となっている。

ア 貸付人員

高等学校奨学生（高等専門学校及び専修学校の高等課程を含む） 20人以内

大学奨学生（短期大学及び専修学校の専門課程を含む） 120人以内

イ 貸付額

（単位：円）

区		分	修学資金(月額)	入学準備金(一時金)	
高等学校・ 高等専門学校	国立及び公立	自宅通学のとき	13,000	100,000円以内で教育委員会が必要と認める額	
		自宅外通学のとき	18,000		
	私立	自宅通学のとき	25,000		
		自宅外通学のとき	30,000		
大 学	国立及び公立 短期大学を含む)	自宅通学のとき	35,000	250,000円以内で教育委員会が必要と認める額	
		自宅外通学のとき	41,000		
	私立	自宅通学のとき	44,000		
		自宅外通学のとき	54,000		
		短期大学	自宅通学のとき		43,000
			自宅外通学のとき		50,000
専 修 学 校	高等課程	国立及び公立	自宅通学のとき	13,000	100,000円以内で教育委員会が必要と認める額
		私 立	自宅外通学のとき	18,000	
			自宅通学のとき	25,000	
		自宅外通学のとき	30,000		
	専門課程	国立及び公立	自宅通学のとき	35,000	200,000円以内で教育委員会が必要と認める額
		私 立	自宅外通学のとき	41,000	
			自宅通学のとき	43,000	
			自宅外通学のとき	50,000	

ウ 年度別貸付状況

（単位：人・千円）

年度	区分	高等学校		大 学		計	
		人 数	金 額	人 数	金 額	人 数	金 額
平成28		2	342	60	36,530	62	36,872
29		3	498	62	36,392	65	36,890
30		3	468	66	39,074	69	39,542
令和元		1	156	68	40,776	69	40,932
2		2	556	75	46,824	77	47,380
3		2	486	95	56,362	97	56,848
累 計		792	230,464	790	1,609,068	1,582	1,839,532

※ 人数の累計は、昭和40年（制度開始年）からの実人数

（令和4年3月31日現在）

エ 奨学金貸付基金運用状況

（単位：千円）

貸付金総額 (A)	償還金総額 (B)	未償還金総額 (C = A - B)	現金総額 (D)	基金額 (C + D)
1,839,532	1,535,568	303,964	269,190	573,154

（令和4年3月31日現在）

(2) 奨学金返還支援事業

若者の市内定住の促進や医療・介護・福祉職の人材確保を図るため、対象となる奨学金を利用して大学等を卒業後、市内に居住する等の要件を満たした者に対し、奨学金返還金の最大全額相当の補助金を交付する。

ア 対象となる奨学金

(ア) 日立市奨学金※1

(イ) 日本学生支援機構貸与奨学金（第一種）※2

(ウ) 茨城県奨学資金※2

※1 「日立市奨学生ふるさと定住促進補助」対象者：平成29年度以降返還開始者

「日立市奨学生医療・介護・福祉職就業支援補助」対象者：令和元年度以降返還開始者

※2 対象者：令和3年度以降返還開始者

イ 補助の種類

補助の名称	補助の要件	補助の内容
奨学生ふるさと定住促進補助	①日立市に居住（住民登録）する ②奨学金返還金及び市税の滞納がない ③奨学金の貸与開始が40歳未満	奨学金返還金の最大50%を補助
奨学生医療・介護・福祉職就業支援補助 (所管：地域医療対策課)	①奨学生ふるさと定住促進補助の支給要件を満たす ②医療・介護・福祉職の国家資格を活かし、市内事業所で働く	奨学金返還金の最大50%を補助

} 最大全額補助

ウ 補助実績（奨学生ふるさと定住促進補助）

区分 年度	補助人数（人）			奨学金種別			補助額 （円）
	新規	継続	合計	市奨学金	日本学生 支援機構	県奨学 資金	
平成29	5	—	5	5	—	—	458,400
30	6	5	11	11	—	—	1,113,700
令和元	9	11	20	20	—	—	1,895,500
2	6	19	25	25	—	—	2,620,700
3	52	22	74	32	41	1	4,020,100

(令和4年3月31日現在)

エ 補助実績（奨学生医療・介護・福祉職就業支援補助）

区分 年度	補助人数（人）			奨学金種別			補助額 （円）
	新規	継続	合計	市奨学金	日本学生 支援機構	県奨学 資金	
令和元	2	—	2	2	—	—	171,000
2	1	2	3	3	—	—	316,700
3	12	3	15	3	11	1	585,200

(令和4年3月31日現在)